

山口県文書館Web古文書 第4週

萩藩の武家文書 1

―藩主発給文書―

▽第4週のテーマは、「萩藩の武家文書 1」として、井原家（「閥閥録」巻三〇の井原五郎左衛門家）に伝来した文書を取り上げました。

▽萩藩の初代藩主毛利秀就と、その父輝元（宗瑞）が発給した判物（はんもつ）を中心にアツプしました。

▽判物とは、大名家の当主（藩主）が花押（サイン）を据えて発給した文書のうち、書状形式以外のものを指します。

▽よく眺めて、解読してみてください。

加刺

元

慶長拾年正月二日

五

井原の島

加冠

寛永九年五月三日

西

井原守俊

七

兄清君知所共百石之事

弟之方究行半一全合願

知一抽身云以忠者也四一

行如件

寛永八年卯月廿五日

井原新助書

粟谷全劫右邊封知行百畝檢石
余地之事役目亦取成竹自其旁
買德通中屋平全之領地
役目亦其之後者如仍一行


如件

享長松八年三月十一日

五

六

左邊封

去年大坂寺書院に
 移し外自家にお成り候に依
 此取清を借し候に依
 潤は外より書院に
 神に依りお成り候に依
 知日物如く由るに潤を
 地より取らば候に依
 元和
 十一


十一
 外自家にお成り候に依
 此取清を借し候に依